

# 春風秋霜

6月号

令和6年6月20日  
島田市教育委員会日より  
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

## 1 劇団四季の「こころの劇場」に参加しました

毎年、劇団四季が市内の5年生の子供たちを「こころの劇場」に招待してくださっています。先日、市内の小学生の子供たちと一緒に、「こころの劇場」に参加することができました。会場で、小学生の子供たちと先生方とのやり取りを見ていて、先生を信頼して話をしている様子に心が温まったり、子供同士が関わる姿にほほえましさを感じたりと、素敵な時間を過ごすことができました。

劇団四季といえば、「ライオンキング」や「美女と野獣」「オペラ座の怪人」などの、名作を上演しており、皆さんもご覧になったことがあるかもしれません。静岡県浜松市に拠点を置く、「たんぽぽ劇団」という有名な劇団もあります。子供のころから素晴らしい劇や音楽などに触れることによって、感性が磨かれると思います。

いただいたパンフレットの中に『こころの劇場』とは、日本全国の子供たちに舞台を通じて、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜び等、人が生きていくうえで大切なことを語りかけるプロジェクトです。」と書かれています。

私が参加した公演には、市内6校の5年生が参加していました。マナーも良く、劇を見て拍手をするタイミングなども、大人顔負けといった感じでした。

今回のストーリーをパンフレットから紹介します。「物語の舞台は、ユートピア学園。その学校は、社会から問題児と決めつけられた子供たちを厳しく管理・教育をする学校でした。夢や希望、笑うことさえも忘れてしまった子供たちの前に、ある日、心を持った1台のロボットがやってきます。『エルリック・コスモス』、通称『エルコス』。温かい気持ちで、子供たち1人ひとりの個性を引き出していくエルコス。彼女のやさしい心に触れた子供たちは、やがて心をひらき、仲間の大切さ、人を思いやる素晴らしさを知り、その瞳は輝きを取り戻していきます。そんな中、ただ一人エルコスに反発する生徒ジョン。幼い頃のトラウマでロボットを信じることができず、利己的な大人たちに脅かされたジョンは、ある日取り返しのつかない事件を起こしてしまいます……。」というように子どもたちにも関心がある内容です。

私が、感動したのは、管理された社会の中で、子供たちが夢や目標を見つけていくことはなかなか難しいだろうと思います。しかし、自分の夢や目標に向かって自由に考えたり、行動したりすることの価値を理解するようになったとき、人は自由な発想で考え、行動することができるようになり、自立していくのです。このような意識が大事であることを、劇を通して教えてくれたのだと思います。

話は少し変わりますが、日本財団というところが、令和6年2月に実施した「18歳意識調査」で、日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの6か国の若者（17歳～19歳男女、各国1,000名）から、「国や社会に対する意識」について調査をした結果が発表されました。驚くような結果が出ています。

### ① 自国の将来について「良くなる」と回答した割合

中国(85.0%) インド(78.3%) 韓国(41.4%) アメリカ(26.3%) イギリス(24.6%) 日本(15.3%)

- ② 「自分は大人だと思う」に「同意」「どちらかといえば同意」と回答した割合  
中国(90.0%) インド(81.7%) アメリカ(76.6%) イギリス(75.8%) 韓国(54.8%) 日本(49.6%)
- ③ 「自分のしていることには、目的や意味がある」に「同意」「どちらかといえば同意」と回答した割合  
中国(90.2%) インド(83.9%) アメリカ(78.0%) 韓国(74.2%) イギリス(72.9%) 日本(62.8%)
- ④ 「もしあなたが全ての「職種」や「業種」から仕事を選べるとしたら、どれを選びますか。」の問いに、「特にない」と回答した割合  
日本(20.3%) アメリカ(3.2%) 韓国(2.9%) イギリス(2.0%) インド(1.4%) 中国(0.5%)  
成人を迎える 18 歳の約半分が、自分は大人でないと思っている日本人。また、18 歳の 5 人に 1 人が、自分の仕事に対する展望を持っていないことに驚かされます。

## 肘かけ椅子

# 「雄大で神秘的な出雲大社」

教育総務課参事 高木 雅彦

出雲大社（島根県出雲市）はとても大きくて美しい建物で、神社本体の大きさは日本一、神様たちが集まる場所とも言われ、私たち人間が人間関係の幸せを願う場所だと聞き、長い間待ち望んだ出雲大社に行ってきました。

出雲大社は、神社としては日本最古の歴史をもち、国内外から多くの人々が訪れる神聖な場所で、多くの外国人が参拝していました。800 万といわれる神々が毎年 11 月に集う地として古来より崇められ、特に神々の出会いや縁結びの神さまとして知られるお社は、一歩足を踏み入ると周囲の空気が一変し、神聖極まりない雰囲気になります。

巨大な鳥居をくぐると、心が洗われるような神々しい原始林が広がり、社殿へと続く参道は神秘的な雰囲気に溢れています。中でも圧巻なのは、「言の葉杉」と呼ばれる高さ 27 メートル、直径 4.39 メートルもの巨大な杉の木で、その存在感に圧倒されます。

本殿へと向かうにあたり出現する石段は長く、石の一枚一枚が歩むたびに祈りを捧げていく重要な場所となっています。その先にある本殿は、雅な和の美を感じることができる社殿で、日本最大の神社建築とされる「大社造り」の建築様式である、檜皮葺の組物造りの建物です。檜で作られており、高さ約 24 メートル、東西約 11 メートル、南北約 28 メートルの大きさがあり、国宝に指定されています。日本古来の建築術が生きていることを実感しました。

さらに、そこには遠くからでも見える大注連縄が掛けられ、全国的にも非常に大きく、長さ 13 メートル、重さ 5.2 トンもあり、神々が宿る場所であることを強く印象付けています。出雲大社は、その深い歴史と神々の存在を感じることができる、一見の価値があるスポットでした。出雲大社のある島根県出雲市は島田市から遠いのでなかなか行けないですが、浜松市に分院があります。神道では、分院も出雲大社と同様のご利益があるそうなので興味のある方は…。